allcinema

積木の箱（1968）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 84分
初公開日 1968/10/30
公開情報 大映

【解説】
三浦綾子の同名小説を増村保造が映画化。池田一朗と増村が脚色を担当した。監督自身、本作のことを「少年のヰタ・セクスアリス」と表現している。
佐々木一郎は北海道の観光王の息子で、母トキ、長女奈美恵、次女みどりと暮らしていた。ある日一郎は、父の豪一と奈美恵が裸で抱き合っているところを目撃してしまう。奈美恵は幼いころに拾われた娘で、豪一の愛人だったのだ。一郎は家での食事を拒否し、毎日パンを買いに出かけた。一郎はそこで働く久代に惹かれていた。一郎は自分を挑発してくる奈美恵を抱き、二度と父親と寝ないよう約束させる。しかし奈美恵は約束を破るだけでなく、実は久代がかつて豪一に襲われ、そのときにできたのが久代の一人息子だと告げるのだった。

【クレジット】
監督 増村保造
企画 三輪孝仁
原作 三浦綾子
脚本 池田一朗
増村保造
撮影 小林節雄
美術 下河原友雄
編集 中静達治
音楽 山内正
出演 若尾文子
内田喜郎
緒形拳
松尾嘉代
梓英子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.